

(株)日比谷花壇 〒106-8587 東京都港区南麻布 1-6-30 2012 年 8 月 29 日

5球購入すると同じ球根5球が被災地に贈られる

スイセンの花を咲かせる喜びを被災地と分かち合う 日比谷花壇の球根シェア「5 for 5」運動

園芸家 柳生真吾さん主宰のスイセンプロジェクトに協力

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、昨年に引き続き、東日本大震災の被災地の方々ともに球根花のスイセンが開花する喜びを分かち合おうと呼びかける、『球根シェア「5 for 5」(ファイブフォーファイブ)運動』を、2012 年 9 月 3 日 (月) から開始します。この運動を開始することに伴い、スイセンの球根 5 球を購入すると、同じ球根 5 球が被災地にも贈られる商品として、球根シェア「5 for 5」 3 商品 (『テタテタ』、『ミノー』:各¥1,000、『おまかせ 5 球』:¥1,500[ともに税・送料込])を、当社のウェブサイト(http://www.totomoni.net/project_suisen/)、京都生活協同組合(会員限定)等を通じて、順次注文受付を開始するとともに、全国の当社店舗(一部除く)で店頭販売します。(*チャネルごとに受付期間が異なります。)

これは、園芸家 柳生真吾さんが主宰する被災地支援活動「あなたの庭のスイセンを被災地に咲かせよう!」プロジェクト(以下、スイセンプロジェクト)に当社が協力する中で、自宅でスイセンを育てていなくても同プロジェクトに参加できるようにと当社が企画したもので、今年で2年目となる活動です。

球根シェア「5 for 5」では、参加者が購入したスイセンの球根 5 球は全国各地で育てていただく一方、被災地に贈られる 5 球については、スイセンプロジェクトで全国から寄せられた球根とともに、東北の被災地各地で花が好きな方々に手渡され、植えていただきます。当社は、この運動が、全国や被災地にいる花が好きな方々の心を結ぶ懸け橋となることを願っています。



*写真はミニスイセン「テタテタ」の開花イメージ。花の色や花のボリュームは異なる場合があります。

当社が協力する、柳生真吾さん主宰のスイセンプロジェクトは、庭やべ ^{色や花のボリュームは異なる場合があります。}
ランダで育て分球して増やしたスイセンの球根を、被災地にいる花が好きな方々に提供し、被災地の春に、スイセンの花を咲かせようと企画されました。東日本大震災後、2011年4月にこのプロジェクトが立ち上がって以来、全国から
賛同者が集まり、昨年度は約 130,000 個の球根の提供希望が 1,900 名を超える方々から寄せられました。
当社の球根シェア「5 for 5」でも、1,200 名以上の方々に参加いただき、約 19,490 個の球根が全国の参加者のもとに、そして同数の球根を東北へ贈ることができました。

当社は、球根シェア商品の販売の他、スイセンプロジェクトに賛同した全国の方々の庭やベランダのプランターから掘り上げられ、寄せられる球根の、当社仙台事務所での一時受け入れ、球根の小分けパッキングに今年も協力します。

また今年は、東北3県(岩手・宮城・福島)以外の地域に避難されている広域避難者の方々同士や、広域避難者の方々と 避難先地域とのコミュニケーションをサポートすることを目的に、球根シェア「5 for 5」で集まった球根を広域避難者の 方々にも植えていただくイベントも開催する予定です。

商品名: 球根シェア「5 for 5」 * 以下3 商品展開

- ・早春から黄色く可愛らしい花を咲かせるミニスイセン『テタテタ』
- ・優しい雰囲気の2色咲きスイセン『ミノー』
- ・さまざまな種類のスイセン球根が入った『スイセンおまかせ5球』

価格: 『テタテタ』、『ミノー』 各¥1,000(税・送料込) 『スイセンおまかせ5球』 ¥1,500(税・送料込)

セット内容:スイセン球根5球(被災地へも同球根5球を、日比谷花壇が責任をもって届けます)

*お手入れのしおり付き

展開チャネル:

◆9月3日(月)10時から日比谷花壇の以下のウェブサイトで注文できます。[注文締切日:10月10日(水)]

http://www.totomoni.net/project_suisen/

- ◆9月24日(月)から京都生活協同組合(会員限定)等を通じて注文できます。
- ◆10 月 1 日(月)から日比谷花壇の店舗(一部除く)の店頭で購入できます。[展開終了日:10 月 31 日(水)] *日比谷花壇の店舗では、『テタテタ』、『ミノー』のみの販売となります。

※売り切れ次第終了となります。

柳生真吾さん プロフィール

園芸家。NHK教育テレビ「趣味の園芸」の司会を2000年から8年間務め、その後もラジオ、講演、連載執筆など多方面で活躍し、植物やガーデニングの魅力を広く伝えている。10歳の頃から父・柳生博氏とともに、山梨県大泉村の自然の中で過ごし、現在、家族で運営する「八ヶ岳倶楽部」の代表を務める。

柳生真吾さん運営 スイセンプロジェクトウェブサイト http://suisen-project.com/



株式会社日比谷花壇について

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約 180店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後もさまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。